This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

DIALOG(R) File 351: Derwent WPI (c) 2004 Thomson Derwent. All rts. reserv. 002259639 WPI Acc No: 1979-58841B/197932 Prepn. of toner for developing electrostatic latent image - by dispersing colouring agent and/or magnetic particles in thermoplastic resin and spraying and cooling the mixt. Patent Assignee: TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO (TOKE) Number of Countries: 001 Number of Patents: 002 Patent Family: Applicat No Kind Date Week Patent No Kind Date 197932 B JP 54080752 19790627 Α 19810401 198117 JP 81013945 В Priority Applications (No Type Date): JP 77148360 A 19771210 Abstract (Basic): JP 54080752 A Colouring agent and/or strongly magnetic particles are dispersed in thermoplastic resin. The resultant resin mixture is sprayed and cooled to give spherical particles. The toner obtained is spherical, has smooth surface and excellent flowability, and does not mass. Colouring agent is e.g. Acid Green, C. black, Benzidine Yellow G, etc. The magnetic particles are e.g. of Fe3O4, gamma-ferrite, strontium ferrite, etc. The thermoplastic resin is pref. polymer having long-chain alkyl group in the main or side chain; e.g. alkylacrylate, N-alkyl acrylamide, linear unsaturated alkyl type polyester, polyamide resin, alkyl silicone waxes, etc. Title Terms: PREPARATION; TONER; DEVELOP; ELECTROSTATIC; LATENT; IMAGE; DISPERSE; COLOUR; AGENT; MAGNETIC; PARTICLE; THERMOPLASTIC; RESIN; SPRAY; COOLING; MIXTURE Index Terms/Additional Words: POLYACRYLATE; POLYACRYLAMIDE; POLYESTER; POLYAMIDE; SILICONE Derwent Class: A89; E24; E31; G08; P84; S06 International Patent Class (Additional): C08J-003/12; G03G-009/08 File Segment: CPI; EPI; EngPI Manual Codes (CPI/A-N): All-A04; Al2-L05C; E21-C21; E25-D; E31-N04; E35-U; G06-G05 Plasdoc Codes (KS): 0229 0231 0486 0493 0640 1283 1293 1306 2208 2210 2321 2329 2511 2541 2808 Polymer Fragment Codes (PF): *001* 011 03- 04- 05- 074 076 079 081 086 141 143 146 229 305 307 364 365 368 38- 393 427 475 658 659 688 725 Chemical Fragment Codes (M3): *01* C810 C106 Q333 Q606 Q339 Q348 M781 M411 M902 *02* A940 A980 C730 C108 C803 C802 C807 C805 C804 C801 C550 A204 A238 A426 Q333 Q606 Q339 Q348 Q611 M781 R032 R035 R036 M411 M902 Chemical Fragment Codes (M4): *03* KO J6 J5 H6 M121 M111 M282 M210 M231 M260 M311 M332 M322 M340 M343 M380 M392 G100 M533 K530 K599 J341 J342 J582 H602 H608 W030 W113 W124 W125 W131 W003 M510 M520 Q339 Q348 Q346 M540 W554 W334 M781 R032 R035 R036 M414 M902 *04* KO H1 M121 M132 M282 M210 M231 M270 M311 M332 M323 M342 M340 M370 M392 C106 L740 G100 M150 M533 L730 L750 K431 K432 K499 H142 H143

W032 W033 H103 W003 M510 M520 Q339 Q348 Q346 M540 W554 W323 W336

M781 R032 R035 R036 M414 M902

(3日本国特許庁(JP)

①特許出願公告

報(B2) 許 公 ⑫ 特

昭56—13945

D Int .Cl .3

磁別配号

庁内整理番号

2000公告 昭和56年(1981) 4月1日

G 03 G 9/08 C 08 J. 3/12 6715-2H 6681-4F

発明の数 .1

(全3頁)

1

図静電潜像現像用トナーの製造方法

頁 昭52-148360 创特

頗 昭52(1977)12月10日 匈出

第 昭54-80752 **④昭54(1979)6月27日**

砂発 明 者 小口寿彦 川崎市幸区小向東芝町1番地東京 芝浦馆気株式会社総合研究所内

砂発 明 者 斉藤一吉 川崎市幸区小向東芝町1番地東京 芝浦低気株式会社総合研究所内

願 人 東京芝加電気株式会社 OH: 川崎市幸区堀川町72番地

创代 理 人 并理士 鈴江武彦

993用文献

公 昭39-17404 (JP,B1)

公 昭44-7142(JP,B1) 44

間 昭48-95444 (JP,A)

動特許請求の範囲

1 熱可塑性樹脂に潜色剤および強磁性粉末のう ちの少なくともいずれか一方を分散せしめた後、 この樹脂を溶融した状態で400℃以上、2 供給して噴霧化し、焓却して球型化せしめること を特徴とする静電階像現像用トナーの製造方法。 発明の詳細な説明

本発明は電子写真及び静電記録の分野に採用さ れる静能潜像現像用トナーの製造方法の改良に関 30 塊化のない流動性の優れた静電潜像現像用トナー するものである。

周知の如く、この種の分野における現像法とし ては、熱可塑性樹脂中にカーボンプラック等の着 色剤を分散せしめてなる着色微粒子(トナーと称 ャと弥す)とを混合したものを、磁石棒に付着せ しめて磁気プランを形成し、このプランを被現像 部材(たとえば腐光体)に形成された静電潜像に 接触させて現像を行なり、いわゆる磁気プラシ現 像法が最も一般的に採用されている。

2

ところで、従来、上述した現像法による現像後 5 の顕像を定着させる方法として、トナーの構成成 分である熱可塑性樹脂を加熱溶融せしめる加熱定 煮法が行なわれている。しかしながら、この方法 にあつて定務器をトナー中の熱可塑性樹脂を加熱 溶融するに十分な温度に維持しなければならない 10 ため、多量の電力を必要とし、しかもスイッチを 入れてから必要温度に違するまでのウオームアツ ブタイムが必要となり迅速作動に障害となる等実 用上の欠点を有する。

しかして、上記欠点を解消するために、最近加 外 2名 15 熱圧療法に代つて圧力定療法が提案されている。 ここに用いられるトナーは上述の加熱定満法に便 用されるトナーと異なり、球型で表面平滑性にな み、圧縮状態下での表面軟化硫動性が良好なこと、 及び圧縮状態下で容易に変形すること、が要求さ 20 れる。しかしながら、従来のトナーの製造方法は **着色剤と樹脂とを熱混練し、機械的に傲粉砕し、** 分級して着色微粒子を得るため、樹脂として圧縮 状態下で容易に変形するものを用いると、粒度が 不揃いで表面平滑性が劣るトナーしか得られず、 kg/cd以上の熱圧縮ガスを用いた二流体ノメルに 25 しかも粉砕操作において粉砕粒子が団塊化するな どの問題があつた。

本発明は上記問題を解消するためになされたも ので、圧縮状態下で容易に変形する熱可塑性樹脂 を用いても、球型で表面平滑性に富み、しかも団 を製造し得る方法を提供しようとするものである。 すなわち、本発明方法は熱可塑性樹脂に着色剤 および強磁性粉末のうちの少なくともいずれか一 方を分散せしめた後、この樹脂を溶触した状態で す)とこれに所望の帯電を付与する鉄粉(キヤリ 35 400℃以上、2kg/cd以上の熱圧縮ガスを用い た二流体ノメルに供給して噴霧化し、冷却して球 型化せしめることを特徴とする静電潜像現像用ト

.3

ナーの製造方法。

本発明に使用する熱可塑性樹脂としては、ある 温度以上で著しく粘度が低下して液状となり、咳 ほ化を容易に行なえる長鎖アルキル基を主鎖また は側鎖にもつポリマーが適している。具体的には、5 想で所定の温度、圧力の熱圧縮ガスを用いた二流 アルキルアクリレート、アルキルメタアクリレー ト、アルキルハロアクリレート、アルキルピニル ケトン、アルキルスチレン、N・Nージアルキル ナクリルアミド、Nーアルキルアクリルアミド、 ピニルアルキルエーテル、ビニルアルキルピリジ 10 動性に侵れた静電像現像用トナーを得ることがで ン、高級不飽和脂肪酸二量体とジオールよりなる 級状不飽和アルキド形ポリエステル、高級不飽和 脂肪酸二量体とジアミンよりなるポリアミド樹脂、 アルキルポリエーテル、アルキルポリウレタン、 アルキルフエノールアルデヒド樹脂、アルキルシ 15 画像を形成できる。しかも、現像後の現像画像 リコン、アルカリルシリコン等の重合体或いはこ れらの共取合体さたは協合物、その他固形パラフ イン、高級脂肪酸、及びこのエステル、金属塩、 アマイド、または各種ワックス類、低分子ポリオ レフイン等を挙げることができる。場合によつて 20 画像を形成できる。 は、これら各種樹脂に天然樹脂、スチレン樹脂、 アクリル樹脂、ポリエステル樹脂、エポキシ樹脂、 アルキド樹脂を混合したものを用いてもよい。

木発明に使用する着色剤としては、たとえばス ビリットプラック、アンドグリーンなどの染料皮 25 粉等の表面処理微粒子を含有する気流を吹きつけ いはカーボンプラックしフタロシアニンブルー、 ペンジシンエローG、ワアーナスオレンジなどの 頗科等を挙げることができる。

本発明に使用する強磁性粉末としては、たとえ ば四三酸化鉄、ァーフェライト、パリウムフェラ 30 ロッキング安定性が著るしく向上する。 イト、ストロンチウムフエライト等を挙げること

本発明における熱可塑性樹脂に対する着色剤ま たは強磁性粉末のいずれか一方または両者の配合 粉末を5~50重量%配合することが望ましい。

本発明における噴霧化手段に用いる熱圧縮ガス の温度条件を限定した理由は、該ガス温度を 400℃未満にするとし 潜色剤や強磁性粉末を含 化できなくなる。また、同熱圧縮ガスの圧力条件 を限定した理由は、該ガス圧力を 2kg/cd未満に すると、二流体ノメルに近接した溶融樹脂供給ノ メル付近を十分低圧化できず、その溶融樹脂の供

給が難しくなるばかりか、十分効果的に球型化で きない。

しかして本発明によれば潜色剤、強磁性粉末を 分散せしめてなる着色熱可腐性樹脂を溶融した状 体ノメルに供給して噴霧化し、冷却することによ つて、トナーの構成成分である熱可塑性樹脂とし て圧縮状態下で容易に変形するものを用いても、 球型で表面平滑性に富み、しかも団塊化のない硫 きる。したがつてこの現像用トナーを使用して被 現像部材の静電潜像を現像する場合、その現像用 トナーは団塊化のない流動性に優れ、かつ球型で 搬送性に優れているため、静電潜像に忠実な現像 (たとえば転写紙上の転写画像)を圧力定着法に より定層処理する場合、現像用トナーは球型で表 面平滑性に富み、圧縮状態下での表面軟化流動性 が良好なため、著しく定着性の優れた鮮明な定着

たお、本発明においては必要に応じて、潜色剤、 強磁性初末またはこれらの両者を分散させた熱可 質性樹脂を溶融状態で噴霧化した溶融粒子に、分 散状態のカーポンプラック粒子コロイタルシリカ て該粒子の表面に該徴粒子の被覆膜を形成しても よい。このような方法によれば得られた現像用ト ナーの帯電性、抵抗値を容易に制御できるばかり でなくトナー表面が非粘滯化して硫動性およびブ

次に、本発明の実施例を説明する。

実施例 1

スチレンーラウリルメタクリレート(70: 30)共重合体(融点110℃)100重量部、 割合は通常設樹脂に対してこれら着色剤、強磁性 35 低分子量ポリエチレン(軟化点110℃)30度 量部、カーポンプラック10重量部、スピリット プラック3重量部を混合し、ホットロールを5回 通して各着色剤が均一に分散した着色樹脂塊を造 つた。得られた着色樹脂塊を200℃で熱密融状 む溶融樹脂を球型で表面平滑性に富む粒子に噴霧 40 憩とするとともに、約500℃、2kg/cmの熱圧 縮ガスを用いた二流体ノズルに供給し噴霧化した。 噴霧粒子は直ちに冷却し、分級処理して粒径が5 ~15 µの現像用トナーを得た。

得られた現像用トナーは球型化しており、かつ

5

団塊化のない流動性の優れたものであつた。

また、上記現像用トナー30gを鉄粉1000 9 K混合して磁気プラシを形成し、この磁気プラ シにより負に帯電した静電潜伏を現像したところ、 普通紙に転写し、この転写画像を4kg/maの線圧 が加えられた2本の鋼製ロー川間に通して定着処 理を施したところ、画像は普通紙に定着され、こ の定着画像は指或いは消しゴムによる摺刷後もこ の状態を保持していることが確認された。

実施例 2

トナーの構成成分としてカーボンプラック、ス ピリットプラックに代えて四主酸化鉄粉30重量 部を用いた以外前記実施例1と同様な方法にて一 成分系磁気プラシ現像用トナ十を得た。

得られた現像用トナーはキャリャと混合するこ となく磁気ブラシ現像法にて負に帯電した静電潜 像を有する静電印刷紙を現像したところ、鮮明な 現像画像が得られた。また、現像画像が形成され た静電印刷紙を線圧4kg/mの2本の鋼製ロール 20 間を通過させて定着処理したところ、該印刷紙上 に強固な定着画像を形成できた。

実施例 3

低分子量ポリプロピレン樹脂(軟化点105℃) 60重量部と四三酸化鉄粉(平均粒径0.3 д) 20重量部とを十分混合した後、ホットロールに 通して練肉し該樹脂中に四三酸化鉄粉を分散させ た着色樹脂塊を造つた。つついて、この着色樹脂 塊を200℃で溶触状態とし、温度400℃、圧 力 4 kg/cmの圧縮熱空気が供給される二流体ノズ 30 きる等顕著な効果を有するものである。 ルを用いて噴霧化すると共に、該二流体ノズルと

対向したノメルからカーポンプラック粒子を含む 20℃の空気流を上記噴霧化樹脂粒子に吹きつけ た。この場合、カーポンプラツク粒子の供給量は 上記噴霧化粒子に対して約2重量%となるように 鮮明な現像画像が得られた。さらに、現像画像を 5 エゼクターフィーダーを用いて調整した。次いで 噴霧化樹脂粒子とカーポンプラツク粒子との複 合物を冷却した後、風力分級機に送つて分級し5 ~ 3 0 μの一成分系磁気ブラシ現像用トナーを得 た。

10 得られた現像用トナーは表面にカーボンプラッ ク粒子が均一に付着し、良好な表面軟化流動性を 示し、かつ磁気プランは使用状態で106~108 Ωの抵抗値を有するものであつた。また、この現 像用トナーを磁気ブラシ現像法にて負に帯電した 15 静電潜像を有する酸化亜鉛感光膜を現像したとこ ろ、鮮明な現像画像が得られ、しかもこの現像画 像を普通紙に転写し実施例1と同様な鋼製ロール 間を通して定着処理したところ、密着力が強固な 定着画像が得られた。

以上詳述した如く、本発明によればトナーの樽 成成分として圧縮状態下で容易に変形する熱可塑 性樹脂を用いても、球型で表面平滑性に富み、圧 縮状態下での表面軟化流動性に優れ、しかも団塊 化のない分散性の優れた静電潜像現像用トナーを 25 容易に製造でき、もつて静電潜像の現像に際して 鮮明な現像画像を得ることができると共に、圧力 定着法により現像画像(或いは転写画像)の定着 処理を行なつた場合、定着性の優れた鮮明な定着 画像を得ることができ、更に製造工程も簡略化で